

4月19日のウクライナ情報

安齋育郎

●ポーランドとハンガリー、ウクライナ産穀物を禁輸 EU は容認せず(2023年4月17日)

ポーランドとハンガリーが15日、ウクライナ産穀物の輸入禁止を発表した。これに対し、欧州連合(EU)の政策執行機関である欧州委員会は16日、禁止措置を認めないと表明した。

ポーランドとハンガリーは、自国の農業をウクライナからの安価な輸入品から保護するため、禁止措置が必要だと主張した。

輸入禁止の対象は穀物、乳製品、砂糖、果物、野菜、肉類。期間は6月末まで。

欧州委員会は、EU加盟国が個別に通商政策を決定できるわけではないとし、一方的な動きは認められないとしている。しかし、ポーランドとハンガリーにどのような措置を取るかは、まだ明らかにしていない。

欧州委員会の広報担当は、「このような困難な時期には、EU内ですべての決定を調整・整合させることが重要だ」とする声明を出した。

ウクライナ産の穀物の多くは黒海経由で輸出される。だが、昨年来のロシアによる侵攻で、輸出ルートが寸断され、大量の穀物が中央ヨーロッパに滞留している。

国連とトルコが仲介したロシアとの合意により、ウクライナは海上ルートで輸出を継続できるようになった。しかしウクライナは、ロシアが過度の検査で輸出の動きを遅らせていると非難している。

今回のポーランドとハンガリーの決定は、自国の市場に安価なウクライナ産の穀物が流れ込み、農作物の市場価格が下がっているとする農家らの訴えを受けたもの。

ポーランドのヴァルデマール・ブダ経済開発技術相は16日、輸入禁止となる農産物はポーランド国内にあるものと輸送途中のものだと説明した。

また、ウクライナからの輸出品がポーランドを通過し、同国の市場に出回らないようにする仕組みの構築が必要だとして、ウクライナに協議を呼びかけた。

これに対しウクライナは、ポーランドの対応は両国間の通商合意に矛盾するとしている。

ウクライナ農業省は声明で、同国は「ポーランドの農業部門の状況に常に共感し、さまざまな課題に迅速に対応してきた」と主張。

その上で、「現時点において、一方的で極端な行動は事態の前向きな解決を加速させることはない」とした。

ポーランドとウクライナの閣僚は17日、ポーランドでこの問題を協議する予定。



●プリゴジン氏、ロシアは目的達成と宣言すべきだ(2023年4月17日)

ワグネル・グループの創業者でプーチン大統領の盟友、エフゲニー・プリゴジン氏は、1年以上に及んでいるウクライナ侵攻を終わらせるならば、ロシアは単に勝利宣言することが可能で、軍が多くの領土を奪取したと納得させられるとの考えを示した。

同氏はテレグラムなどに掲載された記事で「理想的なシナリオは『特別軍事作戦』の終了を宣言し、全国民にロシアは計画した結果を達成したと告げることだ」と指摘。今やるべきことは「われわれが既に得た領土をしっかりと守ることだ」と記した。

ロシア国防省は15日、ワグネル・グループの傭兵がウクライナ東部の都市バフムトの2つの地区を掌握したと発表した。インタファクス通信が伝えた。占拠したのはバフムトの北部と南部の地区で、激戦が繰り広げられていた場所だったと国防省は説明した。



●米機密文書流出、州兵を訴追 バイデン氏は情報保護強化を指示(更新情報、2023年4月17日)

【ボストン 14日 ロイター】 - 米軍の機密文書流出問題を巡り、米当局は14日、不法に機密資料を複製した疑いなどでマサチューセッツ州空軍州兵ジャック・テシェイラ容疑者(21)を訴追した。

前日に連邦捜査局(FBI)に逮捕された容疑者はこの日、刑事手続きのためボストンの連邦裁判所に初出廷した。

14日公開された訴状によると、テシェイラ容疑者は国防機密情報の無許可での持ち出し、不法な複製や保持の罪に問われる。有罪となれば、罪状1件につき最高10年の禁錮刑が科される可能性がある。

判事は、裁判を待つ間、テシェイラ容疑者の拘留を求め、勾留尋問を19日に設定した。

バイデン大統領は14日、この容疑者がなぜ機密文書にアクセスできたのか調査するよう指示したと明らかにした。

また、機密情報の安全性を強化する措置を取っていると説明。「(流出した)文書の信頼性を依然として評価しているところだが、機密情報の保護を強化し、配布を制限する措置を取るよう軍・情報当局に指示した」と声明で述べた。

この問題を巡り、民主党上院トップのシューマー院内総務は17日からの週に上院議員全員への説

明を要請。共和党のマッカーシー下院議長は調査を行うと表明した。



●FBI が軍事機密を漏えいさせた 21 歳の州兵を逮捕し即座に起訴、一体どうやって犯人特定に至ったのか？(ABC News, 2023 年 4 月 17 日)

アメリカ政府の機密文書が Discord を通じて流出した問題で、FBI は 2023 年 4 月 13 日に、文書を漏えいさせたマサチューセッツ空軍州兵であるジャック・ダグラス・テイシェイラ容疑者を逮捕しました。スパイ防止法違反の疑いで起訴されたテイシェイラ容疑者は、逮捕翌日の 14 日にマサチューセッツ州の連邦裁判所に出廷しました。

今回の軍事機密漏えい事件は、4 月 6 日に The New York Times が「ウクライナ軍を支援するためのアメリカと NATO の秘密計画について記した機密文書が SNS 上に投稿された」と報じたことにより発覚しました。Discord に投稿された機密文書はその後、4chan や Telegram などを通じてインターネット上に拡散されました。流出したアメリカ政府の機密文書は Discord に投稿され 4chan や Telegram に拡散された & なぜか TRPG のキャラクターシートが含まれていたことも判明 - GIGAZINE

機密文書を漏えいしたとして逮捕されたマサチューセッツ空軍州兵であるジャック・テイシェイラ容疑者は、国防情報の保持と伝送、および機密文書の故意の保持の罪で起訴されました。これにより、テイシェイラ容疑者には最大で 15 年間の懲役刑が科される可能性があります。ボストンにある連邦裁判所に初出廷したテイシェイラ容疑者は囚人服に身を包んで入廷し、最前列にいた父親と互いに「愛してる」と言葉を交わし合いました。

by Margaret Small/Reuters 8 ページからなる宣誓供述書には、テイシェイラ容疑者の機密漏えいに詳しい Discord ユーザーとの面談記録を含む FBI の捜査の経緯が詳細に記されています。この文書では、証言を行った Discord ユーザーの身元などは伏せられていますが、この Discord ユーザーは「テイシェイラ容疑者とされるユーザーは、地政学的な問題や戦争について議論するためのチャットで、2022 年 12 月ごろから機密情報らしきものを投稿し始めた」と述べました。Discord で活動していたテイシェイラ容疑者が「ジャック」を名乗ったことや、航空州兵の一員であると主張したこと、マサチューセッツ州に住んでいると推測されることといった情報は、この証言者から提供されたものです。FBI はその後、捜査に協力的だった Discord から投稿に関する記録を入手し、テイシェイ

ラ容疑者の特定につなげました。証言者は FBI に対し、「当初は機密文書の書き起こしを投稿していたテイシェイラ容疑者が機密文書の写真の投稿に切り替えたのは、職場で書き写しがばれるのを懸念したから」と述べました。これは、テイシェイラ容疑者が他のユーザーから注目されていないことに腹を立てたことが理由だというこれまでの一部報道とは異なります。

「Thug Shaker Central」と呼ばれるこの小規模な Discord サーバーでは、約 20 人のユーザーが集まり、自分の好きな銃の種類を語ったり、ジョークやインターネットミームを共有したりしていました。また、ロシアによるウクライナ侵攻を含む戦争も議題になっていたとのこと。テイシェイラ容疑者が機密文書をリークした動機は明かされていませんが、「証言の中のテイシェイラ容疑者は、イデオロギーよりも虚栄心に突き動かされたように見えます」と AP 通信は指摘しました。ニュースメディア・CNN の報道によると、テイシェイラ容疑者は空軍で通信ネットワークの展開と維持に携わっていたとのこと。テイシェイラ容疑者が機密文書にアクセスできたのは、ネットワークのセキュリティに關与する職務に就いていたからだと考えられています。また、漏えいされた機密文書の画像にしわがつかっていることが多いことから、文書は廃棄予定の資料を保管する「バーンバッグ」に入れられていたものを、テイシェイラ容疑者が発見したのではないかとの見方もあります。「悪夢」と評される今回の機密漏えいの舞台となった Discord は、アメリカ軍が若者を勧誘するのに活用するコミュニケーションツールでもありました。機密漏えいが発覚する直前の 3 月に発表された(PDF ファイル)ガイドの中で、アメリカ軍の特殊作戦司令部は Discord で活動する軍人に向けて「不特定多数の人に見られたくないものは Discord に投稿しないこと」とくぎを刺しています。それにもかかわらず、数百ともいわれている膨大な機密情報が流出してしまいました。ロイド・オースティン国防長官は、テイシェイラ容疑者逮捕後の記者会見で、「国防総省はこのような漏えいが 2 度と発生しないよう、情報へのアクセス、説明責任、管理手順の見直しを実施します」と話しました。



●北方領土上陸阻止へ軍事演習＝ウクライナ侵攻下、日米けん制―ロシア(2023 年 4 月 17 日)

ロシアのショイグ国防相は14日、太平洋艦隊(司令部ウラジオストク)の臨戦態勢を緊急点検し、南クリール諸島(北方領土)やサハリン島への「敵の上陸」阻止を想定した軍事演習を実施するよう海・空軍に命じた。艦艇が14日、出港し、ミサイル発射を行うほか、長距離爆撃機も参加させるという。

ウクライナ侵攻が長期化し、太平洋艦隊の精鋭部隊である海軍歩兵も投入する中、極東での軍事力を誇示する狙い。プーチン政権は中国に同調して「自由で開かれたインド太平洋」戦略を「アジア版の北大西洋条約機構(NATO)をつくる試み」と非難しており、日米などをけん制する思惑がありそうだ。



●最後の3基停止、脱原発完了 = 与党内にも温存論、残る火種—ドイツ(2023年4月17日)

【ベルリン時事】段階的な原発の廃止を進めてきたドイツで15日夜(日本時間16日朝)、最後の原子炉3基が送電網から切り離され、電力供給を止めた。今後は廃炉の手続きに移る。初めての供給から60年超にわたった原子力事業に終止符が打たれ、脱原発の支持者らは「歴史的な日だ」と歓喜に沸いた。一方、エネルギー危機に対する不安は根強く、連立与党内にも温存論がくすぶっている。



●元米軍下士官の女性が機密拡散か 親ロシア SNS アカウント運用(共同通信、2023年4月17日)

【ワシントン共同】米紙ウォールストリート・ジャーナル電子版は 16 日、米機密文書が流出した事件を巡り、文書を拡散した親ロシアの交流サイト(SNS)アカウント「ドンバスの少女」を運用していたのが元米海軍下士官の女性だったと報じた。本人が取材に応じ、「ドンバスの少女」の一員だと認めた。機密文書の流出事件では、東部マサチューセッツ州の空軍州兵ジャック・テシェイラ容疑者が SNS「ディスコード」に文書を流出させたとして、スパイ防止法違反などの疑いで訴追された。米軍関係者が流出に加え、拡散にも加担した可能性が浮上した。

同紙によると、元下士官は西部ワシントン州在住のサラ・ビルスさん(37)。ロシアが併合宣言したルガンスク州で生まれたが、ウクライナ人を嫌っているわけではないと語った。「ドンバスの少女」の実態はロシア人ブロガーとみられていたが、世界中に管理者が本人を含め計 15 人いるネットワークだという。

「ドンバスの少女」は、ロシアの見解を宣伝する英語版のソーシャルメディアとして広くフォローされている。



14 日、米ワシントンで記者会見するガーランド司法長官(AP=共同)

●ゼレンスキーはロシアからウクライナ軍の燃料を買っていた(及川幸久、2023年4月13日)

※ウクライナのどうしようもない腐敗ぶりをシーモア・ハーシュが暴いています。また、アメリカがウクライナ国境近くに2万の兵を派遣している状況も明らかにしている重要な話です。

ゼレンスキー 敵国と商売

キエフで汚職が横行しウクライナ国境に米軍が集結する中、バイデン政権は戦争を終結できるか。

シーモア・ハーシュのスクープ

ゼレンスキーは米国のお金でロシアから安い燃料を買っていた。

ウクライナ軍が必要なディーゼル燃料を米国の納税者のお金でまかなうようになった。

ゼレンスキーが燃料をロシアから輸入。

戦争中の相手、ディスカウント価格だから

ゼレンスキーとその取り巻き

米国から燃料費を受け取り安いロシアの燃料を買い、差額数百万ドルを着服。

米国を騙して儲けていた。

CIA アナリストの試算

横領された資金は少なくとも昨年 4 億ドル

バイデン政権は国民の税金でゼレンスキーを儲けさせ、ロシアを儲けさせた。

ウクライナ政府の汚職の構造

各省庁がフロント企業を設立。ポーランド、チェコ、中東、世界中の武器商人と取り引きし、キックバックを受け取る。

バーンズ CIA 長官

軍幹部、政府高官35人の汚職リスト

ゼレンスキー10人だけ解任

バイデン政権の内部対立

バイデン側近と情報機関との信頼関係はない。

バイデン、ブリンケン、サリバンは経験も判断力も道徳的誠実さもない。ただの嘘つき。

ノルドストリームの爆破

バイデンは情報機関と議論せず、戦争集結の戦略もない。

中国の台湾侵攻に対する戦略もない。

バイデンはウクライナ国境に米軍を派遣

何のために？

米露戦争の引き金か？

<https://youtu.be/cG-oy-D-D94>

